

製品名: MYCNOS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14269**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	MYCNOS CYMN NCYM
別名	N-cym protein (N-myc opposite strand)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P40205
免疫原	ヒト MYCNOS 由来の合成ペプチド AA 範囲: 2-52

背景

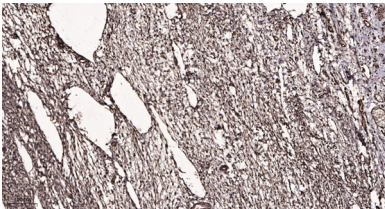
この遺伝子は、鳥類骨髄細胞腫ウイルス性癌遺伝子である v-myc 神経芽腫由来ホモログ遺伝子 (MYCN) に対してアンチセンス転写される。MYCN を安定化させ、アポトーシスを阻害し、細胞増殖を促進する小さな新規タンパク質をコードすると考えられてい

る。この遺伝子座の転写産物は、機能性 RNA として直接作用し、MYCN のプロモーターに転写調節因子をリクルートし、この癌遺伝子の転写を刺激する可能性がある。したがって、この遺伝子は RNA 産物とタンパク質産物の両方を介して機能する。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]。発生段階：胎児発生期および増幅された N-myc 遺伝子座を含む腫瘍細胞株において発現し、非常に高いレベルで発現する。機能：正常な胎児発生期において機能的役割を果たす可能性がある。組織特異性：胎児の脳、肺、肝臓、腎臓において、様々な低レベルで発現する。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト卵巣腫の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈（4℃で一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、45 分）。